

日韓相互認識研究会 記録

(文責 若尾政希)

第二四回日韓相互認識研 二〇一五年七月二十六日

於一橋大学マーキュリータワープロジェクトルーム

李 成市 「日本近代史学における韓国古代史認識」

吉田 裕 「日本の戦争観と戦争責任論」

木村 元 「戦後の学校化社会の成立と展開―日韓(韓日)

の比較史研究の視点から―」

第一八回日韓歴史共同研究シンポジウム・共同学術踏査

(韓国・光州科学技術院) 翰林大学校日本学研究所、韓

日歴史共同研究会後援：東北亜歴史財団との共催

日程 二〇一五年八月一九日～二二日

八月一八日 ソウル市内踏査、安重根記念館・漢陽城郭

・朝鮮神宮

八月一九日 バスでに移動、潭陽郡昌平面にてレセプシ

ヨン(故中村政則先生追悼会)

八月二〇日

第一八回日韓歴史共同研究シンポジウム 於光州科学技

術院教授会議室

主題 「ふりかえってみる韓日両国の相互認識」

【報告者及び報告タイトル】

吉田裕 「戦後七〇年」と日本人の歴史認識

木村元・朴桓甫 「学校の戦後七〇年 ―日韓(韓日)の

比較史研究―」

李 成市 「日本近代史学における韓国古代認識―植民地

主義の克服のために―」

盧 泰敦 「八世紀中葉新羅・日本関係の展開」

趙 廷祐 「朝鮮総督府満洲移民政策の裏面―鮮満拓殖会

社設立の経緯を中心に―」

八月二一日 日韓合同踏査

光州踏査(五・一八墓地、五・一八資料館、光州学生運

羅州踏査(正統樓錦城館・牧使 衙・榮山浦・近代街道

・羅州国立博物館)

八月二二日 井邑 東学農民運動関連遺跡を踏査し、金浦

国際空港へ移動し、帰国

【参加者】

(韓国側)

盧 泰敦 (Noh Tae-Don) ソウル大学校名誉教授、韓国側

代表、韓国古代史、

金 容徳 (Kim Yong-Deok) 光州科学技術院碩座教授、ソ

ウル大学校名誉教授、日本近代史

李 泰鎮 (Yi Tae-Jin) ソウル大学校名誉教授、韓国近

代史

金 基奭 (Kim Ki-Seok) ソウル女子大学校碩座教授、教

育学

李 賢恵 (Yi Hyun-hye) 翰林大学校教授、韓国古代史

南 基鶴 (Nam Ki-Hak) 翰林大学校人文大学日本学科教

授、韓国側事務局長、日本中世史

都 珍淳 (Doh Jin-Soon) 昌原大学校史学科教授、韓国

現代史

元 智妍 (Won Ji-Yeon) 全南大学校国際学部教授、日本

近現代史

金 興秀 (Kim Heung-Soo) 弘益大学校歴史教育科招聘

教授、近代韓日関係史

朴 桓甫 (Park Hwanbo) 忠南大学校教育學科助教授、

教育史

趙 廷祐 (Cho Jung-Woo) 翰林大学校日本学研究所研究

教授、韓国近代史

洪 文基 (Hong Mun-Ki) ソウル大学校国史学科博士課

程

高 善允 (Ko Sun-Yun) 白石芸術大学校外国語学部兼任

教授、日本語

(日本側)

吉田 裕 (Yoshida Yutaka) 一橋大学社会学部研究科教授、

日本側代表、日本近代政治史

糟谷憲一 (Kasuya Kenichi) 一橋大学名誉教授、朝鮮近

世・近代史

森 武麿 (Mori Takemaro) 神奈川大学教授、日本近現代

經濟史

日本近世史

池 享 (Ike Susumu) ソウル大学校師範大学教授、日

山内民博 (Yamauchi Tamihiro) 新潟大学人文社会教育科

本中世史

学系准教授、朝鮮中世・近世史

李 成市 (Lee Sung-Si) 早稲田大学文学学術院教授、朝

林 雄介 (Hayashi Yuusuke) 明星大学日本化学部准教

鮮古代史

授、朝鮮近代史

君島和彦 (Kimishima Kazuhiko) 東京学芸大学名誉教授、

山口公一 (Yamaguchi Koichi) 追手門学院大学経営学部

日本近代史

准教授、朝鮮近代史

木村 元 (Kimura Hajime) 一橋大学社会学研究科教授、

裴 始美 (Bae Young-Mi) 立命館大学コリア研究センタ

日本教育史

―専任研究員、朝鮮近代史

木村直也 (Kimura Naoya) 産業能率大学経営学部教授、

若尾政希 (Wakao Masaki) 一橋大学社会学研究科教授、

近世・近代日朝関係史

日本側事務局長、日本近世史・思想史

石居人也 (Ishii Hitonari) 一橋大学大学院社会学研究

加藤圭木 (Kato Keiki) 一橋大学大学院社会学研究科専

科准教授、日本近現代史

任講師、朝鮮近現代史

権 容奭 (Kwon Yongseok) 一橋大学大学院法学研究科准

事務局・スタッフ

教授、国際関係史

事務局・スタッフ

高柳友彦 (Takayanagi Tomohiko) 一橋大学経済学研究科

南 基鶴 韓国側事務局

専任講師、日本近現代史

洪 文基 同

佐藤宏之 (Sato Hiroyuki) 鹿児島大学教育学部准教授、

若尾政希 日本側事務局

日本近世史

加藤圭木 同

小関悠一郎 (Koseki Yuichiro) 千葉大学教育学部准教授、

崔 誠姫 (Choi Seonghee) 一橋大学大学院社会学研究科

特別研究員、朝鮮近現代史

李 宣定 (Lee Sun-jung) 一橋大学大学院社会学研究科

博士後期課程、日本近代史

尹 朝鉄 (Yun Jocheol) 一橋大学大学院社会学研究科博

士後期課程、リサーチアシスタント、日本近

世史

蔣 允杰 (Jang Yoongol) 一橋大学大学院言語社会研究

科博士後期課程、リサーチアシスタント、朝

鮮近現代史

伴野文亮 (Tomono Fumiaki) 一橋大学大学院社会学研究

科博士後期課程、日本近代史

比江島大和 (Hieshima Hiroto) 一橋大学大学院社会学研

究科博士後期課程、日本近代史

井上直子 (Inoue Naoko) 一橋大学大学院社会学研究科博

士後期課程、日本近代史

第二五回日韓相互認識研 二〇一六年一月一〇日

於一橋大学マキユリータワープロジェクトルーム

蔣 允杰「植民地初期朝鮮における軍需皮革工業の成立」

洪 昌極「植民地期朝鮮における東洋拓殖株式会社の江

西千拓事業」

第二六回日韓相互認識研 二〇一六年七月二四日

崔 誠姫「第二次朝鮮教育令施行期における中等女子修

身教育」

於一橋大学マキユリータワープロジェクトルーム

石居人也「足尾銅山をめぐるふたつの運動―田中正造と

いうメディア―」

権 容爽「大衆文化の交流と日韓相互認識」

第一九回日韓歴史共同研究シンポジウム・共同学術踏査

(日本・一橋大学佐野書院)

日程 二〇一六年八月一九日～二二日

八月一九日 レセプション

八月二〇日

第一八回日韓歴史共同研究シンポジウム

於一橋大学佐野書院

【報告者及び報告タイトル】
金 興秀「金玉均と『甲申日録』」

石居人也「足尾銅山をめぐるふたつの運動―田中正造と

いうメディア―」

李 泰鎮 「安重根と梁啓超

―近代東アジアの二つの灯火―

權 泰憶 「一九一〇年代の日帝植民地主義の特徴と挙族

的3・1運動」

崔 誠姫 「第二次朝鮮教育令施行期における中等女子修

身教育」

權 容奭 「大衆文化の交流と日韓相互認識」

八月二一日 日韓合同踏査 北関東

ハンセン病資料館・国立療養所多磨全生園、足利学校・

鏝阿寺、伊香保温泉史跡散策、伊香保温泉松本楼宿泊。

八月二二日 台風九号が関東を直撃したため、日韓合同

踏査二日目の予定（足尾銅山、日光東照宮・輪王寺他）

をキャンセルし、立川に戻る

八月二三日 韓国側研究者帰国

【参加者】

（韓国側）

盧 泰敦 (Noh Tae-Don) ソウル大学校名譽教授、韓国側

代表、韓国古代史、

金 容徳 (Kim Yong-Deok) 光州科学技術院碩座教授、ソ

ウル大学校名譽教授、日本近代史

李 泰鎮 (Yi Tae-Jin) ソウル大学校名譽教授、韓国近

代史

金 基奭 (Kim Ki-Seok) ソウル女子大学校碩座教授、教

育学

權 泰憶 (Kwon Taeok) ソウル大学校国史学科名譽教

授、韓国近代史

南 基鶴 (Nam Ki-Hak) 翰林大学校人文大学日本学科教

授、韓国側事務局長、日本中世史

都 珍淳 (Doh Jin-Soon) 昌原大学校史学科教授、韓国

現代史

元 智妍 (Won Ji-Yeon) 全南大学校国際学部教授、日本

近現代史

金 興秀 (Kim Heungs-Soo) 弘益大学校歴史教育科招聘教

授、近代韓日関係史

朴 桓甫 (Park Hwanbo) 忠南大学校教育學科助教授、

教育学史

徐 禎完 (Suh Jhong-Wan) 翰林大学校人文大学日本学

科教授、日本芸能史・日本中世文学

洪 文基 (Hong Mun-Ki) ソウル大学校国史学科非常勤

講師

〈日本側〉

吉田 裕 (Yoshida Yutaka) 一橋大学社会学研究科教授、

日本側代表、日本近代政治史

糟谷憲一 (Kasuya Kenichi) 一橋大学名誉教授、朝鮮近

世・近代史

森 武磨 (Mori Takemaro) 一橋大学名誉教授、神奈川大

学名誉教授、日本近現代経済史

池 享 (Ike Susumu) 一橋大学名誉教授、日本中世史

李 成市 (Lee Sung-Si) 早稲田大学文学術院教授、朝

鮮古代史

君島和彦 (Kimishima Kazuhiko) 東京学芸大学名誉教授、

日本近代史

木村 元 (Kimura Hajime) 一橋大学社会学研究科教授、

日本教育史

木村直也 (Kimura Naoya) 産業能率大学経営学部教授、

近世・近代日朝関係史

小川和也 (Ogawa Kazumari) 中京大学文学部教授、日本

近世史・思想史

石居人也 (Ishii Hitonari) 一橋大学大学院社会学研究

科教授、日本近現代史

権 容奭 (Kwon Yongsuok) 一橋大学大学院法学研究科准

教授、国際関係史

高柳友彦 (Takayanagi Tomohiko) 一橋大学経済学研究科

専任講師、日本近現代史

佐藤宏之 (Sato Hiroyuki) 鹿児島大学教育学部准教授、

日本近世史

小関悠一郎 (Koseki Yuichiro) 千葉大学教育学部准教授、

日本近世史

山内民博 (Yamauchi Tamihiro) 新潟大学人文社会教育科

学系准教授、朝鮮中世・近世史

林 雄介 (Hayashi Yuusuke) 明星大学日本文化学部准教

授、朝鮮近代史

山口公一 (Yamaguchi Koichi) 追手門学院大学経営学部

准教授、朝鮮近代史

三ツ井崇 (Mitsui Takashi) 東京大学大学院総合文化

研究科准教授、朝鮮近代史

鄭 榮桓 (Chong Yeongwan) 明治学院大学教養教育

センター准教授、朝鮮現代史

松園潤一朗 (Matsuzono Junichiro) 一橋大学大学院法

学研究科専任講師、日本法制史

- 若尾政希 (Wakao Masaki) 一橋大学社会学研究科教授、
日本側事務局長、日本近世史・思想史
- 加藤圭木 (Kato Keiki) 一橋大学大学院社会学研究科専
任講師、朝鮮近現代史
- 崔 誠姬 (Choi Seonghee) 一橋大学大学院社会学研究科
特別研究員、朝鮮近現代史
- 事務局・スタッフ
- 南 基鶴 韓国側事務局
- 洪 文基 同
- 若尾政希 日本側事務局
- 加藤圭木 同
- 崔 誠姬 (Choi Seonghee) 一橋大学大学院社会学研究科
特別研究員、朝鮮近現代史
- 李 宣定 (Lee Sun-Jung) 一橋大学大学院社会学研究科
博士後期課程、日本近代史
- 尹 朝鉄 (Yun Jocheol) 一橋大学大学院社会学研究科博
士後期課程、日本近世史
- 蔣 允杰 (Jang Yoonsoal) 一橋大学大学院言語社会学研
究科博士後期課程、朝鮮近現代史
- 崔 仁鐵 (Choi Incheul) 一橋大学大学院社会学研究科博
士後期課程、朝鮮近現代史
- 洪 昌極 (Hong Changseuk) 一橋大学大学院社会学研究
科博士後期課程、朝鮮近現代史
- 李 尚炫 (Lee Sanghyun) 一橋大学大学院言語社会学研
究科博士後期課程、朝鮮近現代史
- 李 英美 (Lee Yong-mi) 一橋大学大学院社会学研究科博
士後期課程、出入国管理体制、東アジア国際
関係史
- 金 誠明 (Kim Sungmyung) 一橋大学大学院社会学研究
科修士課程、朝鮮現代史
- 金 庚昆 (Kim Yundi) 一橋大学大学院社会学研究科修士
課程、朝鮮近現代史
- 伴野文亮 (Tomono Fumiaki) 一橋大学大学院社会学研究
科博士後期課程、日本近代史
- 井上直子 (Inoue Naoko) 一橋大学大学院社会学研究科
博士後期課程、日本近代史
- 高田雅士 (Takada Masashi) 一橋大学大学院社会学研
究科博士後期課程、日本近現代史
- (以上、敬称略)

【謝辞】

本雑誌は、日本學術振興会科学研究費基盤研究（A）「日韓相互認識」研究の深化・発展のために「東アジア情勢のなかで」（代表吉田裕、課題番号二六二四四〇三七）の成果である。